

小学校 1年

すきまクイズをつくろう

河内長野市立川上小学校

教科

図画工作

単元名

すきまちゃんのすきなすきま

本時のねらい

・いろいろな隙間から、形の面白さを感じ取り、見つけた隙間のクイズを作成する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・校内にある隙間を探し、自分が作ったすきまちゃんと一緒に学習者用端末で写真を撮影することで、見つけた隙間をその場で記録する。
・ロイロノートを使い、「すきまクイズ」を作成・提出することで、それぞれの児童が撮影・作成したものを他の児童と共有しやすくする。また、クイズ形式でまとめることで、学校にどんな隙間があるのかを楽しみながら学ぶことができるようにする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Chromebook ・授業支援ソフト（ロイロノート） ・プロジェクター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○前時のふりかえり ○本時の課題を提示する。 「すきまクイズをつくろう」	・教員が事前に作成した「すきまクイズ」をスクリーンで見せ、学習への関心を高める。 ・ロイロノートでクイズのテンプレートを送り、本時の見通しを持たせる。この時、教員が作成したクイズも見本として使えるよう児童に送る。
展開 (30分)	○校内の特別教室や廊下で、見つけた隙間にすきまちゃんを置き、三段階の距離で撮影する。 ○クイズの作り方を説明する。 ○「すきまクイズ」を作成する。	・学習者用端末を使用し、好きな場所で隙間を見つけて撮影させる。クイズになるように、距離や角度を変えながら工夫して撮らせる。 ・教員用端末をプロジェクターで投影し、ロイロノートを活用したクイズ作成の方法を説明する。（貼り付け方やサイズ変更の仕方など） ・ロイロノートで児童に「問題」「ヒント」「答え」の順に並んだカードを配付し、撮影した写真を選んで貼り付ける。この時、発表することを意識して、写真選びやサイズの変更などを工夫するように伝える。
まとめ (5分)	○作った「すきまクイズ」を提出する。 ○次回の「すきまクイズ大会」の予告を行う。	・ロイロノートで提出箱を作成し、提出させる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：隙間を見つけて写真を撮っている様子



写真2：クイズの作り方の説明を聞いている様子



写真3：「すきまクイズ」を作成する様子

児童生徒の反応や変容

・自分が作ったすきまちゃんを学校の様々な隙間に置き、自ら学習者用端末で撮影することを通して、今まで気付かなかったところに隙間があることや、隙間の形の面白さに気付く児童が多かった。たくさんの隙間を見つけたことができた児童も多く、活動を楽しんでいる様子が見られた。
・クイズを作成する場面では、友だちに発表することを意識し、楽しいクイズになるように写真を選んだり、サイズを調整したりするなど、工夫してクイズづくりに取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

学習者用端末を使用することで、児童が端末を持ち運びながら隙間を探すことができ、隙間を見つけたらその場で写真を撮ることができる。また、ロイロノートのカメラ機能を使用して撮った写真は瞬時にカードとして貼り付けることができる。さらに、ロイロノートでクイズを作成・提出することで、次回に行う「すきまクイズ大会」の際にクイズの共有をスムーズに行うことができる。